

令和3年7月15日

夏山特有の気象と注意点

低気圧の接近や寒冷前線の通過については、テレビや新聞の天気予報から判断ができませんが、雷雨の発生は非常に判断が難しく、雷雨に遭うと恐怖でしかありません。

1 最低限（新聞やTVから地上天気図はみておこう。）

私は、日本気象協会HPの地上天気図を見ています（気象庁HPは検索しにくい。）

イ 安定した天気図であっても、天気予報で上空に寒気があるといえれば要注意

ロ 山小屋等から最新の天気予報を入手すること。

2 天気予報は、主に地上が対象、山が対象ではありません。

北海道放送HPから専門天気図をみよう（気象庁HPは検索しにくい。）

イ 週間予報支援図(FXXN519)

下段の図から500hPa（標高約5500m）の太平洋高気圧（網掛部分）の変化を見よう！

北緯30度（屋久島）、35度（JR大津駅）、40度（十和田湖）、45℃（稚内）、50度（樺太）

ロ 週間アンサンブル予想図(略号FEFE19)

網掛部分が前24時間降水量5mm以上の範囲

ハ アジア500hPa・300hPa天気図(AUPQ35)

下の図（500hPa）、-6℃以下が雷雨のサイン（夏山の場合）

3 上空に寒気があると雷雨になる理由

気温は1000mあたり6℃低下する。

上空500hPa（標高5500m）は地上より33℃低い。 $6℃ \times 5.5 \text{ km} = 33℃$

地上が33℃であれば、上空500hPaは0℃が理想

7月11日（日）午前9時の島根県浜田市の上空500hPa（標高5500m）は“-9.9℃”でした。

4 その他

標高が高くても、大阪と変わらず暑いときもある。

諏訪湖（標高759m）・・・名古屋（758）より1m高い

白馬駅（標高714m） / 上高地（約標高1500m）

高層天気図の日時は世界標準時間です、日本時間には+9時間してください。

予報は難しいです、しかし、結果から判断すると納得できます。少しの興味を！